

萬福寺だより

HP <http://www.manpukuji.or.jp>

馬込から気持ちのよい風が吹いてくる

発行／曹洞宗 萬福寺護持会

2013年夏号／no.16／平成25年7月1日発行



無量門 (左) と鐘樓門 (山門から)

お塔婆を立てる意味

萬福寺住職 安本 利正

お塔婆の本名は「卒塔婆」であり、その語源は二千年以上昔の古代インド語のストウパー(塔)の音を写した言葉です。お塔婆の上部にある切り込みは五輪塔の姿を表現しています。

お墓に多くのお塔婆を立てるのは、多くの仏に囲まれていれば悪い者が近寄らない、という信仰から生まれた習慣です。そのお塔婆には建立者の名を記していますが、名を記すことには更に深い意味があります。

「私は本日参拝に来ました。ずっと一緒に付いていきたいのですが、家に帰らなければなりません。そこで私の代わりに私の名を書いたお塔婆をお側に付けてお守りしますから、どうぞ安心してお眠りください」。

お墓と建立者の心が通じ合える

こうして私の名を書いたお塔婆がお墓に立っている、ということの時々思い出してください。遠くに居てもそのお塔婆を思い出すことによって心は通じ合えるものです。私の代わりにお塔婆が立っていると思った瞬間に、お墓と心が通じ合えるでしょう。

私は毎年一回友人の墓

参りをしています。その

お墓の後ろには、私の名を書いた昨年のお塔婆が立っています。帰りに寺

へお塔婆供養料を納めると、後でお墓に立ててくれますので、墓参りの趣旨が更に深まるように感じます。



五輪塔



お塔婆